

【作り方説明書】

インナーワンピースの型紙

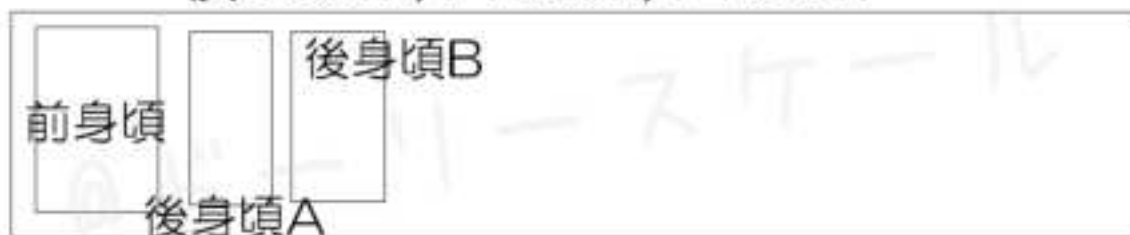
<p>■詳細対応サイズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・40cm ソフビ ・50cm ソフビ ・58cm ソフビ M,L,LL <p>(スマド未確認)</p>	<p>■難易度</p> <p>【イージー】 / ノーマル / ハード / ハード↑ / エクストラ</p>
<p>■サンプル使用生地 of 厚み</p> <p>0.6mm</p>	<p>■用意するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニット等のストレッチ性のある布 ・ストレッチレース ・ニット用の糸 ・ニット用の針 ・縫製用面ファスナー
<p>■手縫い可否</p> <p>OK</p>	<p>■注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・布とストレッチレースの伸び具合によっては、L や LL は着られない場合があります。 ・L や LL に着せたい場合は、良く伸びる布やストレッチレースを使用して下さい。 ・伸びない布やレースを使うと、どのサイズでも着用不可になりますのでご注意ください。
<p>■布に書き写すパーツリスト</p> <p>①前身頃 1枚 → そのまま 1枚</p> <p>②後身頃 A 1枚 → //</p> <p>③後身頃 B 1枚 → //</p> <p>合計：3枚 のパーツで構成</p>	

■必要な布量参考数値

【インナーワンピースの型紙 40cm】

横90cm, 110cm, 140cm

縦17cm



【インナーワンピースの型紙 58cm】

横90cm, 110cm, 140cm

縦21cm



01. 型紙を貼り合わせる。※一例を挙げて説明しています。

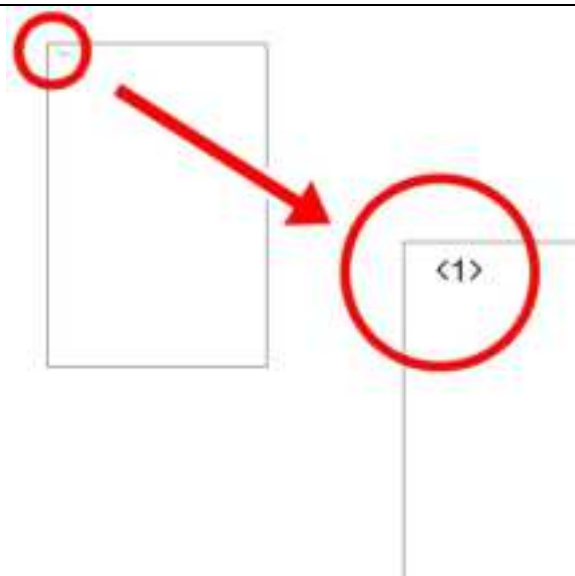
- ① 型紙に割り振られている番号を確認する。

番号は型紙の左上に記載。

※①～④の右図は全型紙共通で使用しています。

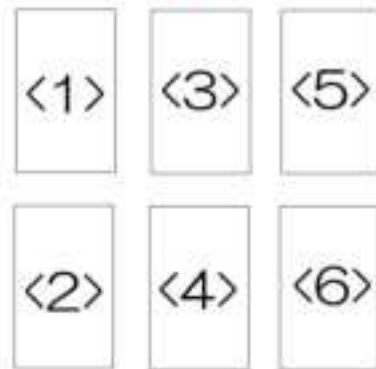
型紙の種類によって貼り合わせる枚数、数字は違います。

枚数、貼り合わせ数字については各型紙をご覧ください。

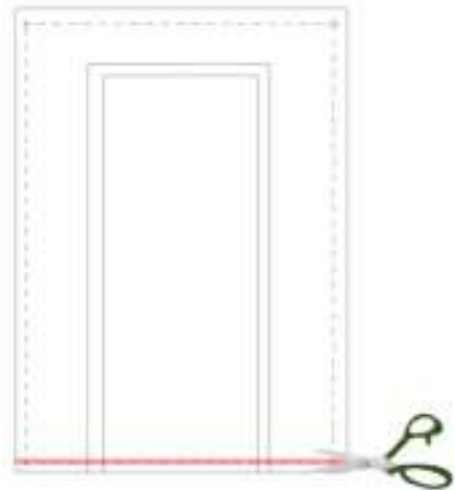


② <1>の型紙に記載されている通りに
型紙を並べる。

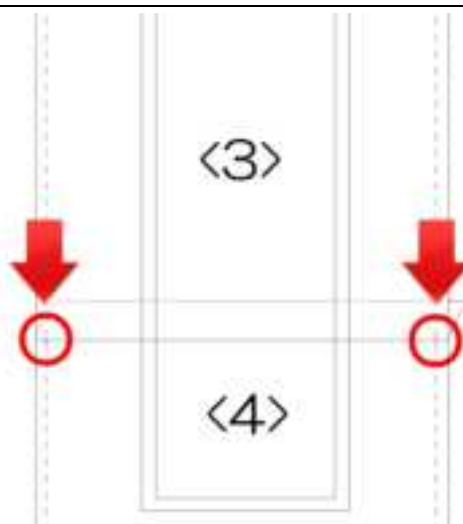
「青色の数字の型紙貼り合わせる」
という箇所に記載。



③ 点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。

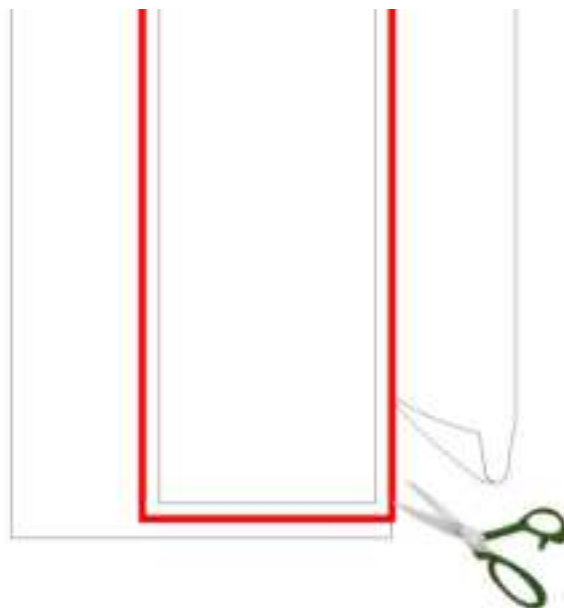


④ <5>の上部のガイドに③の下部を合わせて、
表裏両方をテープで留める。



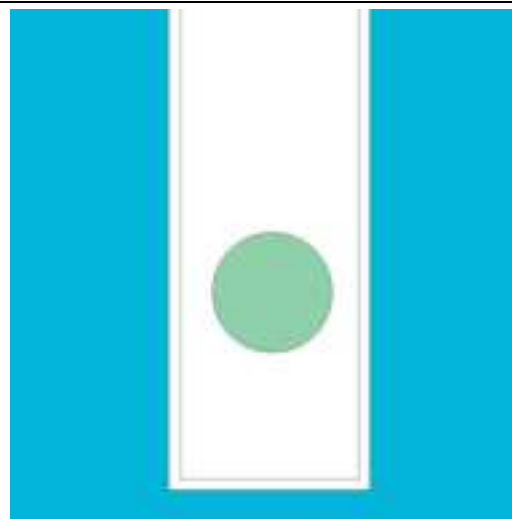
02. 型紙を切り取る。

02～07の右図は全型紙共通で使用
しています。



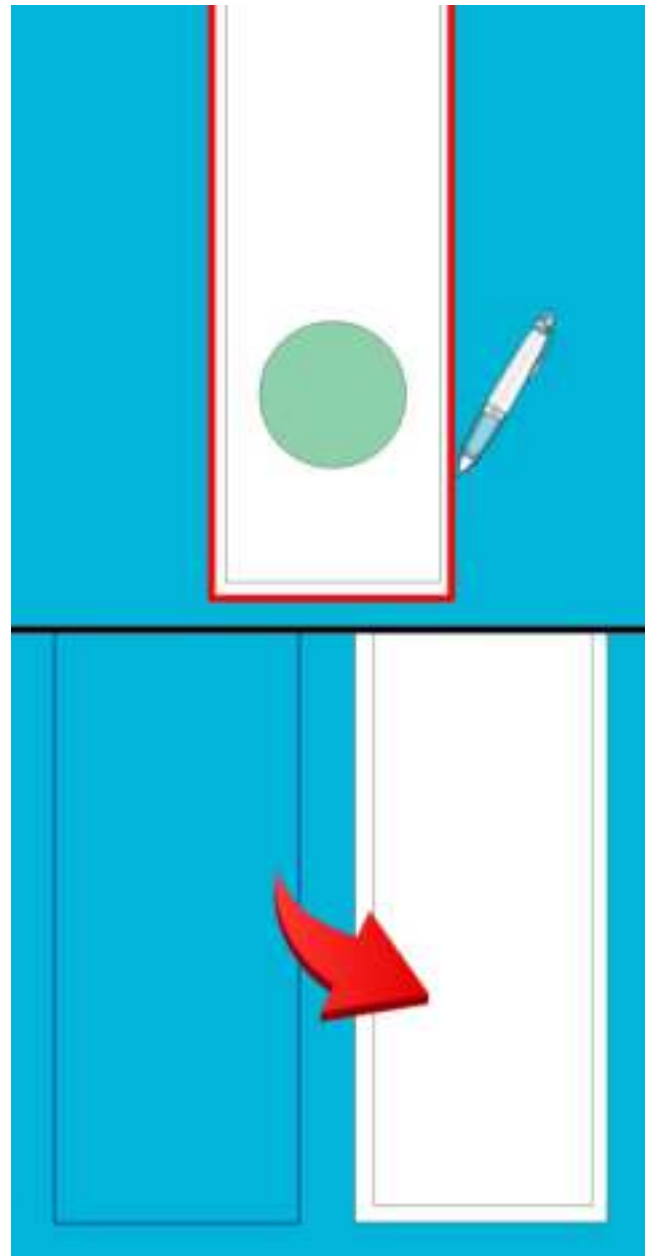
03. 布を裏にして型紙を置く。

まち針で留めず、ペーパーウェイト等で
型紙が動かない様にする。

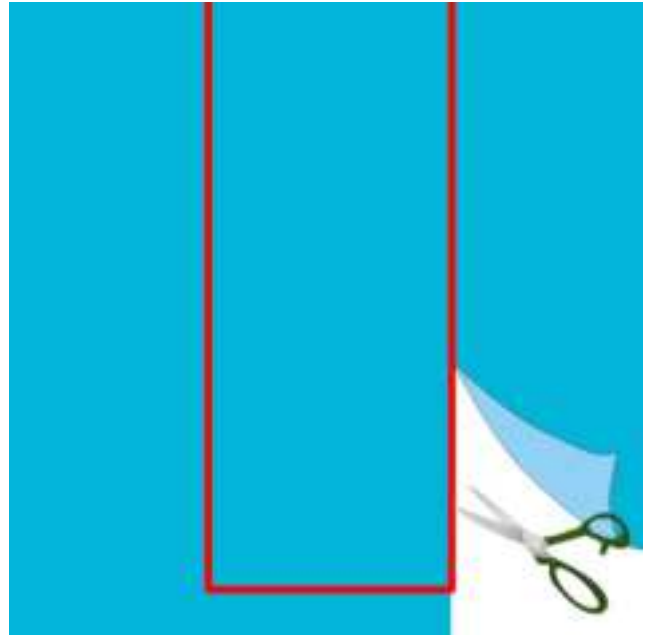


04. 型紙の外側をなぞって布に写す。写したら
型紙は一旦避ける。

- 【※オススメのチャコペン
・カリスマシャープペンシル
・クロバー 水性チャコペン

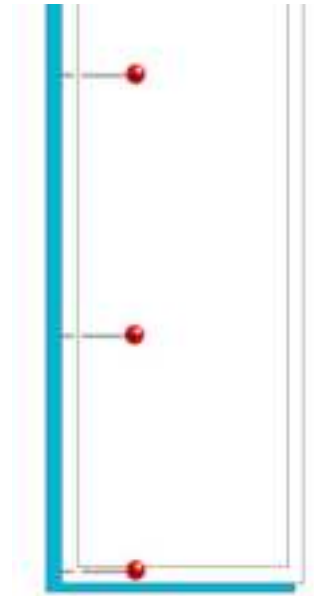


05. 04 で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

〔 型紙と布がずれないようにするだけなので、
細かくとめる必要はない。〕



07. “切りじつけ” をする。(①～⑧)

- ① しつけ糸を針に通し、糸が2本になる様にする。
〔玉止めはしない。〕

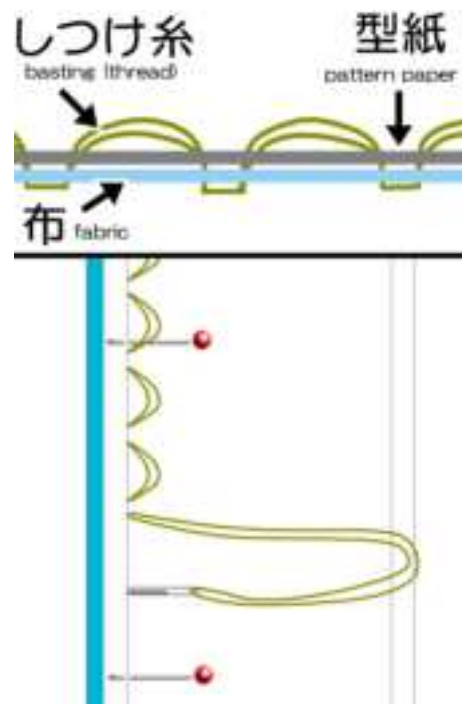


- ② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。

- 型紙から刺す
- 布を刺す
- 0.3cm 程度すくうように縫う
- 型紙を刺す
- 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺す

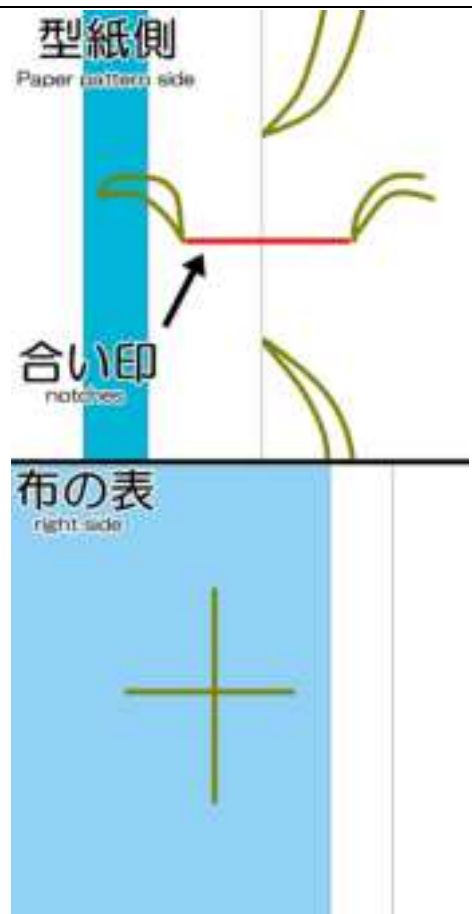
A～E を繰り返す。

〔上側はたるませて、下側の糸はたるませない。
全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくても良い。〕





- ③ 角や合い印は下側(布側)から見て、
+ に見えるように針を刺す。



④ 上側のたるませた糸を切る。



⑤ まち針を抜く。

⑥ 糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。



⑦ 長い糸は 3mm 程度に切る。

[糸を抜き取らない様に注意。]



⑧ しつけ糸が抜けやすい様に、アイロンか指で糸を寝かせる。



08. ミシンの針と糸をニット用に替える。

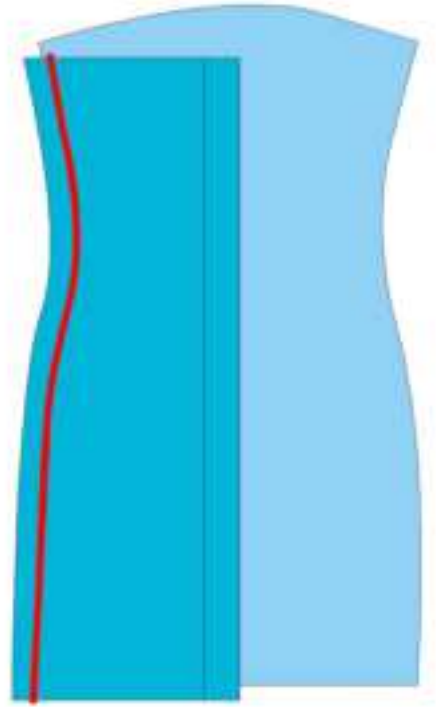


09. 表が内側になる様に、前身頃と後身頃 A を合わせる。



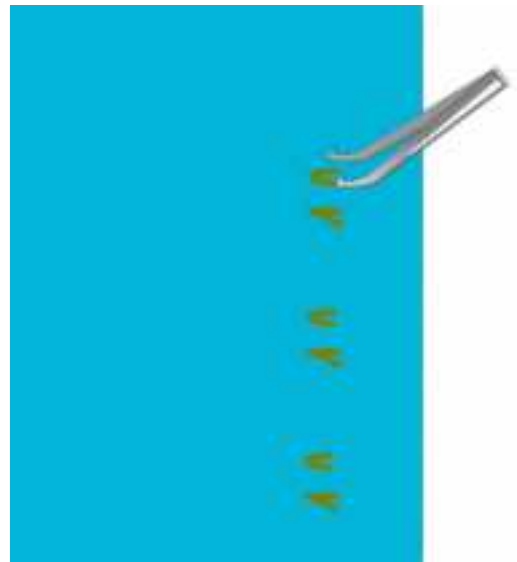
10. 脇を縫う。

- 家庭用ミシンの縫い目を左図にする。
後身頃 B も同じように縫う。



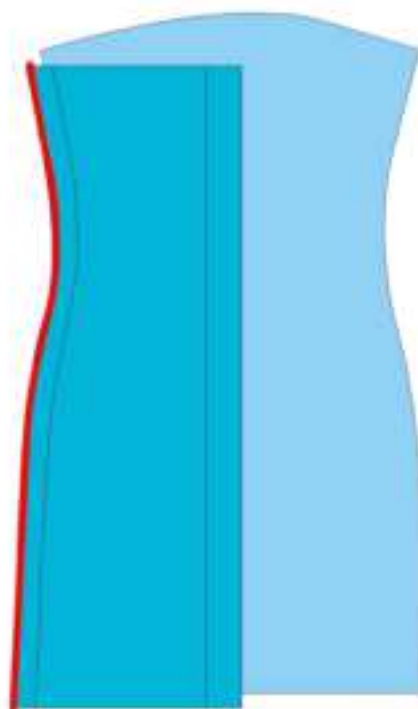
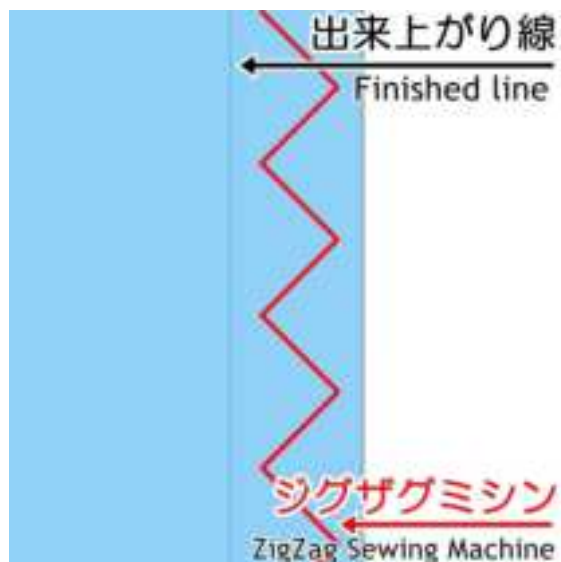
11. 縫ったところのしつけ糸を抜く。

- しつけ糸が取り辛い時は、糸抜きや毛抜き等で抜く。
以降、縫ったら余分なしつけ糸はその都度抜いていく



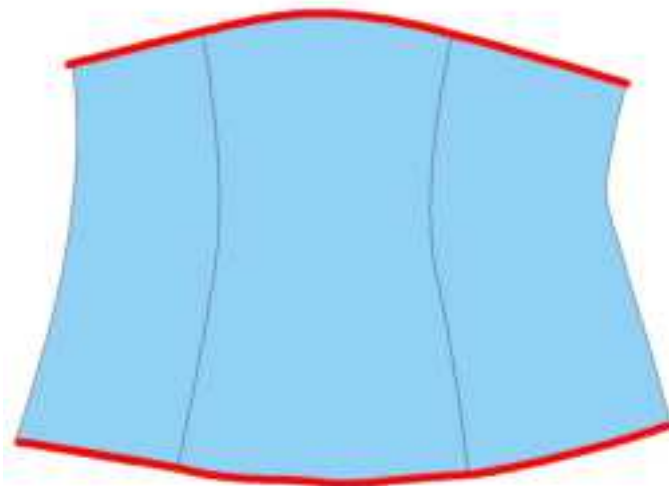
12. 10で縫った所をロックミシンか
家庭用ミシンのジグザグで縫う。

- 〔 家庭用ミシンの縫い目を左図にする。
布端から針が落ちない様に、少し内側を縫う。〕



13. 胸のラインと裾を、
ロックミシンか家庭用ミシンのジグザグで縫う。

- 〔 縫い代は後身頃側に倒す。〕

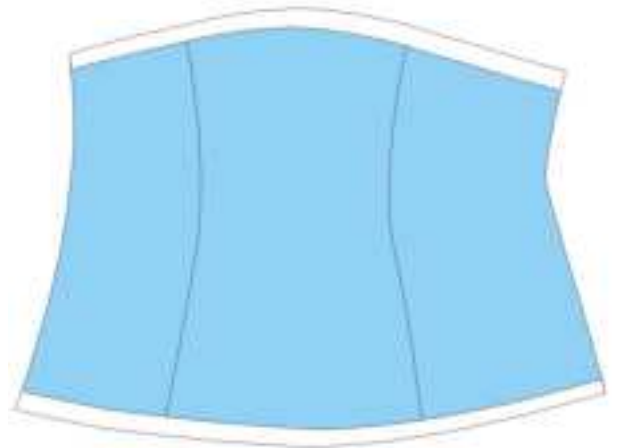


上から見た時
top view

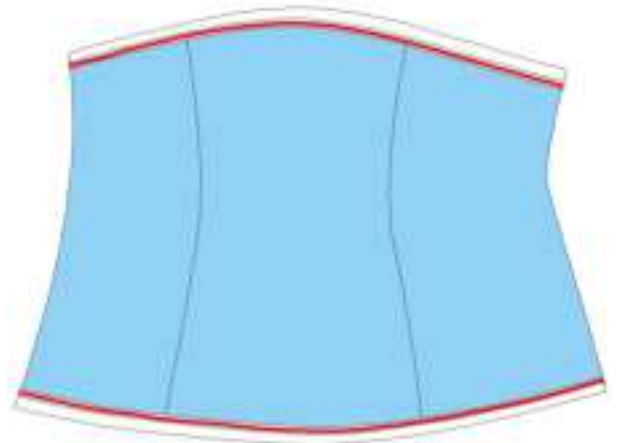
前身頃
front bodice



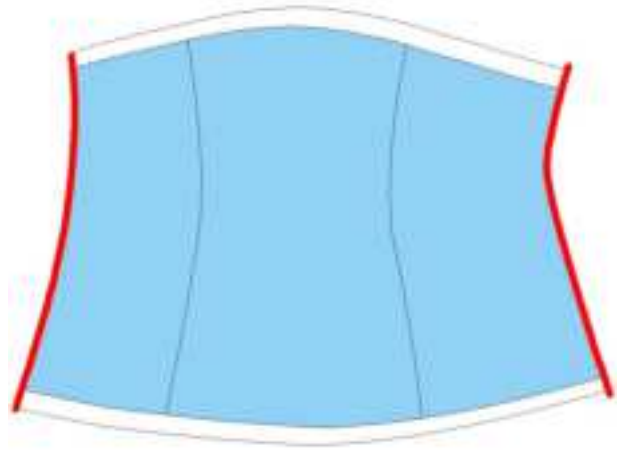
14. 胸のラインと裾に、表からストレッチレースを合わせる。
〔ストレッチレースは引き延ばさない様にする。〕



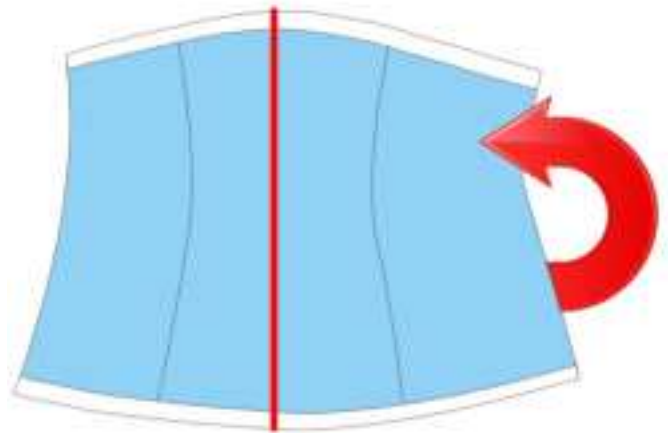
15. 身頃の縁を縫う。



16. 後身頃の両端を
ロックミシンか家庭用ミシンのジグザグで縫う。



17. 表が内側になる様に、後身頃を合わせる。

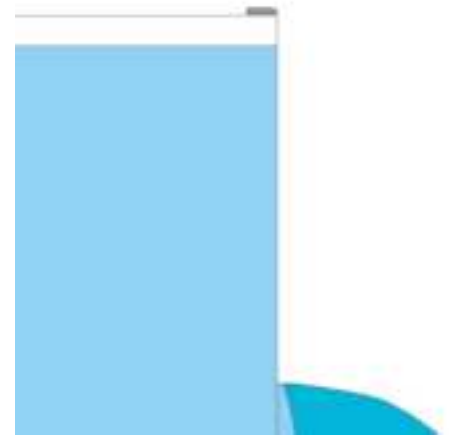
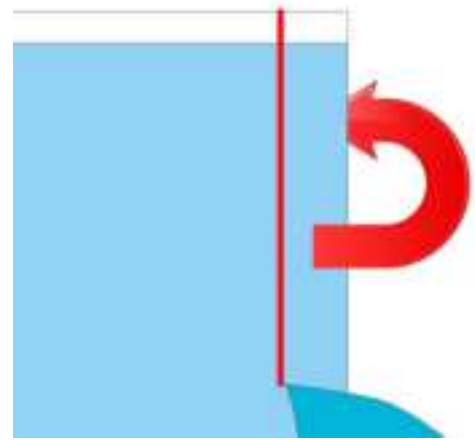


18. 裾から開き止まりまでを縫う。



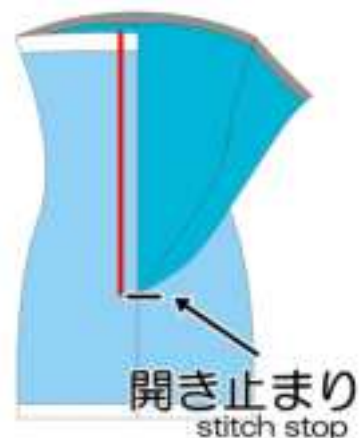
19. 表に戻す。

20. 表から見て後身頃の左側の縫い代を、出来上がり線で折る。

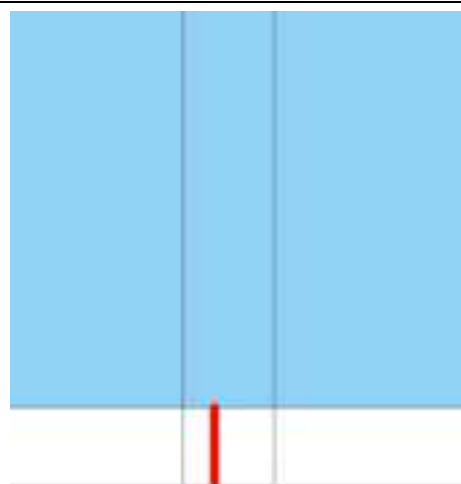


21. 20 で折った出来上がり線から、0.7cm くらいを開き止まりま
で縫う。

[右側の縫い代を巻き込まない様に注意。]

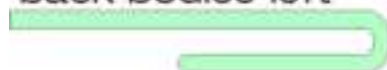


22. 縫い代を左側に倒し、裾を 0.7cm 程度縫う。



下から見た時
View from below

後身頃 左
back bodice left

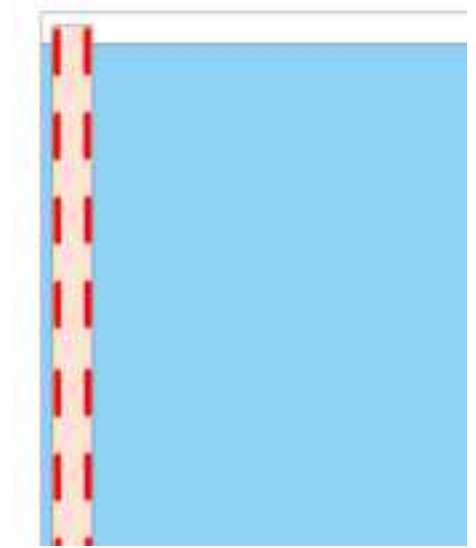


後身頃 右
back bodice right

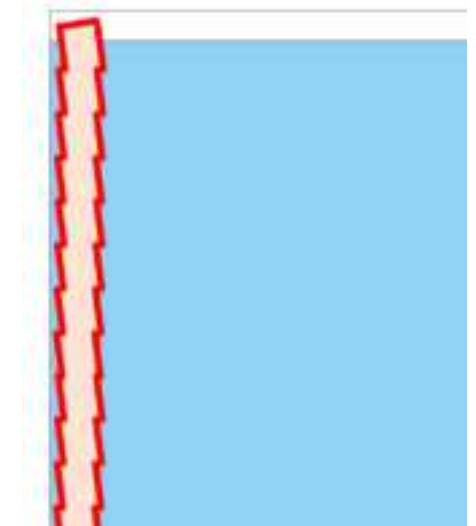
23. 開き止まりから直角に0.7cmくらい縫う。
〔手縫いでもOK。〕



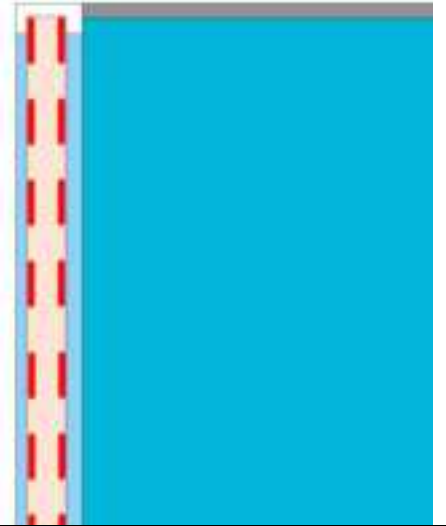
24. 後身頃右側の縫い代に、面ファスナーをしつけ糸で
仮縫いする。



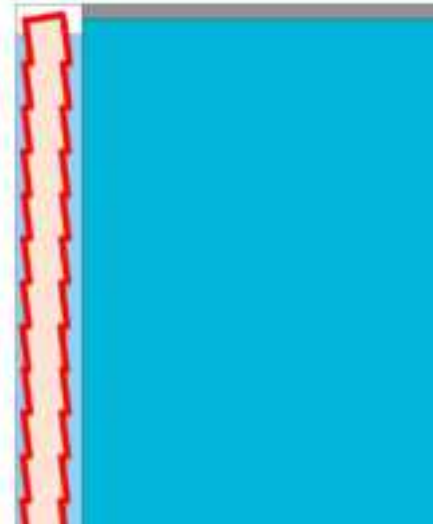
25. 24で仮縫いした面ファスナーの周りを、まつり縫いで付ける。



26. 後身頃左側の縫い代に、面ファスナーをまつり縫いで付ける。



27. 26 で仮縫いした面ファスナーの周りをまつり縫いで付ける。



28. 必要なら前身頃フロントにリボン等を付ける。

お疲れ様でした！